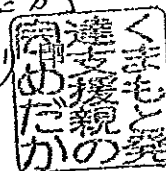


平成25年3月19日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市東区
団体名 くまもと発達支援親の会「めだか」
代表者 職名 代表 氏名 後藤 みどり



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成24年9月27日付け指令(市協)第57号により、平成24年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

発達障害の子ども達の感覚統合「めだか療育」

2 助成事業の実施期間

平成24年10月28日～平成25年3月10日

3 助成事業の内容

10月28日 通常の療育

12月16日 クリスマス会(クリスマス会のための検査)

2月16日 ものつくり

3月10日 ものつくり

1月26日 保護者勉強会

4 事業の成果

助成金をいただいたことで感覚統合に必要な備品や器具を購入でき、主に事で充実した療育を行うことができました。また、ボランティアの学生さんの人数を増やす事ができ、実践を通じて学生さんの勉強の場を提供していき、熊本市の教育療育の、より一層の支援の充実に

5 助成事業の実施状況

つながる事と思います。これからこのようは療育活動と継続していくことがベストと考えます。

(1) 事業収支決算書(様式17号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

別紙 ①～⑥

平成25年1月26日 保護者勉強会資料

事業報告書

平成24年度	
事業名	発達障害の子ども達の感覚統合「めだか療育」
目的	発達障害の診断を頂いても、感覚統合の療育をして頂ける所が十分でない現状を軽減するため感覚統合の第一人者であります日田勝子教授のご協力で実際に、今療育をされている専門の先生や学生さん達に経験による勉強を兼ね、子どもの持つ特性からくるアンバランスさを療育で軽減して頂く事により、学校での勉強への集中力を上げ、日々の生活リズムが整い、自己肯定感が培われることが目的で、助成金を頂いて実施する事ができました。
事業期間	平成24年10月28日～平成25年3月10日
具体的な事業内容	<日時>10月28日 13時～16時まで <場所>熊本県身障者福祉センター <タイトル>通常療育 「おもてなしの心」を培う <目的>SSTのプログラムで人の為に相手の好きなものを考える過程。準備をする過程。を重視した愛他的活動(人の為になにかをし、喜んでもらえることから自己存在感へ繋げる為を目的とした活動です。 療育指導者と担当保護者間で、療育内容、準備物などについて打ち合わせを行う。決定事項について各療育グループ担当に連絡、事業の準備を行う。 <内容>日田勝子教授とボランティアでご協力して下さる専門分野の先生方と、国立熊本大学・九州ルーテル大学・熊本県立大学のボランティアの学生さんと親の協力での感覚統合療育をしました。 買い物はもてなすものを買いに行きました。一人一人違いますが、もてなす相手が好きな菓子類(お煎餅やドーナツ、シュークリームなど)を買いました。 1. 十五夜月見だんご作り 2. おもてなし(金額に合わせて、シュークリームやドーナツを購入し、ココアなどの飲み物と一緒にもてなす) *参加者 めだかの12人の子ども *日田勝子教授へ *ボランティア学生5人 *会場費・使用料 *備品・消耗品 領収書№1～№9 参加費@1000円×12 謝金10000円・交通費5000円 交通費@1000円×5 2800円 1417円

<日時>12月16日9時～5時まで

<場所>熊本県身障者福祉センター

<タイトル>クリスマス会

<目的>子ども達の中には、外界からの感覚刺激を上手に整理整頓することが難しく、情報が交通渋滞になりてしまうことがあります。

この渋滞状態をできるだけスムーズにしてあげることで行動が落ち着いたり、お話がよく聞けるようになります。

今日は、おもいっきり体を動かしたりゲームをしたり、多くの成功体験を感じることで多くの感覚を育てて行くことが目的です。

<内容>日田勝子准教授とボランティアでご協力して下さる専門分野の先生方と、国立熊本大学・九州ルーテル大学・熊本県立大学のボランティアの学生さんと会員の親で朝9時から体育館を7区画に分けて「ダンボール迷路」「スクーター滑り台」「ブランコ」「ボールプール」など等の準備を12時半までして、1時過ぎから通常の療育では出来ない体育館全体を使った大掛かりな感覚統合療育を行った。

(療育内容は別紙①～⑥の資料をご覧ください)

その後クリスマスプレゼント交換会では、お互いに用意していたプレゼントをシャッフルした後、めだか会員のお父さんがサンタさんに変装して配った後、協力して下さった先生方とボランティアの学生さんと親も含めてサワー会を行った。

*参加者 めだかの会員の子ども達とメールなどで募集した発達障害の診断名の子ども達と親51人

参加費@500円×51

*日田勝子教授へ

謝金10000円・交通費5000円

*ボランティア学生8人

交通費@1000円×8

*会場・使用料

3500円

*備品・消耗品

71209円

領収書No.15～No.35

12月16日のクリスマス会ので効果的な感覚統合の療育を行う為の事前の発達検査を12月2日に13時～16時まで熊本県身障者福祉センターでくまもと発達支援親の会の子ども達に日田勝子教授とボランティアでご協力して下さる専門分野の先生方と、ボランティアの学生さんと親の協力での感覚統合療育に必要な、WISCIV知能検査・K-ABC心理教育アセスメントバッテリー検査・DN-CAS検査などを行った。

*参加者 めだかの会員の子ども達 10人

参加費@2000円×10

*日田勝子教授へ

謝金10000円・交通費5000円

*ボランティア学生 1人

1000円

*会場・使用料

1400円

*備品・消耗品(WISCIV知能検査用紙・K-ABC心理教育アセスメントバッテリー検査用紙・DN-CAS検査用紙)

5000円

領収書No.10～No.14

<日時> 1月26日 1時から4時まで

<場所> 熊本県身障者福祉センター

<タイトル> 保護者勉強会

<目的> 子どもの生きにくさ、感覚のアンバランス、感覚の特性についてお話頂き療育の必要性を改めて勉強する事で感覚統合の療育を理解し、家でも生かせる事ことが目的です。

<内容> 感覚統合について詳しいお話を日田勝子准教授に私達親とボランティアの学生さんにご講話いただき子どもの生きにくさ、感覚のアンバランス、感覚の特性についてお話頂き療育の必要性を改めて勉強する事が出来ました。

*参加者 めだかの会員の親 13人

参加費はわくわく寄金により無料

*日田勝子教授へ

謝金10000円・交通費5000円

*会場・使用料

2800円

*ボランティア学生 1人

1000円

*備品・消耗品

資料代2000円

領収書No.36~No.39

<日時> 2月16日 13時~16時まで

<場所> 熊本県身障者福祉センター

<タイトル> ものづくり

<目的> 集団活動を通して、保護者や子供たちのお互いの交流を図る。

活動を通して規則や役割、集団における協調性など社会的スキルの向上を目指す
色々な経験を通して、自己認識を高め、自己存在に対する有能感を感じてもらう
ことを目的として親子クッキング活動を行ないました。

<内容> チョコレート・べっこう飴作り

・チョコレートを手で細かく割る。

溶かしたチョコをカップに入れてナッツ・カラーチョコ・ポッキーなどを自分で考え
ながらトッピングして挑戦しながら火の扱いや周りの子ども達とのコミュニケーション
を図る。

をしていく。

・べっこう飴づくりでは、砂糖と水を鍋で溶かしてあめ色になるまで煮詰める
色が変わるまでしっかり観察してもらう飴や竹などを使い子どもの楽しめるような
ものに挑戦することにより手先の感覚を培う。

・出来上がりをラッピングして家族へのプレゼント用を作る。

*参加者 めだかの会員の子ども達

参加費@500円×11

*日田勝子教授へ

謝金10000円・交通費5000円

*会場・使用料

1400円

*ボランティア学生 1人

1000円

*備品・消耗品

6191円

領収書No.40~No.53

<日時> 3月10日 13時～16時まで

<場所> 熊本県身障者福祉センター

<タイトル> ものづくり

<目的> 集団活動を通して、保護者や子供たちのお互いの交流を図る。

活動を通して規則や役割、集団における協調性など社会的スキルの向上を目指す
色々な経験を通して、自己認識を高め、自己存在に対する有能感を感じてもらう
ことを目的として親子クッキング活動を行ないました。

<内容> 3月ケーキデコレーション・ポップコーン・タピオカドリンク

・ケーキデコレーションでは、それぞれの好みで考えながら生クリーム・いちご・ナッツ類を使ってデコレーションをする。

・ポップコーン作りでは、ガラス蓋のフライパンを使って、とうもろこしがポップコーンへ変わる瞬間と

ポンポンはじける音を楽しみながら作る。

・大きなストローでタピオカを吸いながら、タピオカの食感を感じる。

・1年間のまとめとして、先生方へ感謝の気持ちを現す。

2月23日 3月10日は今年度最後の療育になるので、ご協力いただいた日田教授はじめ先生方とボランティア学生さんに感謝の気持ちを表すための感覚統合の療育のための打ち合わせをしました。

*参加者 めだかの会員の子ども達

参加費@1000円

×7

*日田勝子教授へ

謝金10000円・交通費5000円

*会場・使用料

2月23日 1400円

3月10日 1400円

*ボランティア学生 8人

交通費@1000円×8

*備品・消耗品

11298円

領収書No.54～No.75

ボランティア学生さんへの交通費の支払いが活動の度ではなく3月10日にまとめて支払うことになりましたので、領収書No.66～No.73にまとめて有ります。

活動場所	熊本県障害者福祉センター(長嶺)
期待される効果	発達障害の診断を頂く年齢も様々で、就学前でしたら、どこかで療育して頂く事も可能ですが、生後1ヶ月～3才までの定期健診で見つからない場合も多く、診断名がつかないまま感覚のアンバランスさを持ちながら小学校に入学した場合、授業を離席しないで受ける事もままならない子ども達は、小学校や中学校生活も大変な苦勞があり、自信を失っておられる子どもさんが多く、診断名がついて特性が分かった時点での療育が必要です。 しかし、今の熊本市では、十分な療育の場が確保されてないばかりではなく中学校以上の療育は皆無に近い状況です。 その為、療育を未就学～中学3年生までの会員の子どもたちに療育する事により、特性に因る学校で離席して学習に困難をきたす事の軽減・高所恐怖症の軽減・手先の不器用さや、体のアンバランスのために自尊心を失っていく子どももの自己肯定感のアップをめざします。 また、実際に療育をお仕事でされている先生方も、小学校以降関わられる事が少ないため(熊本市は未就学までが多い)小学校以降の発達障害の子ども達の困り感やその後の悩み現状を見て頂く事により、熊本市の療育の将来への充実にご尽力いただけると信じております。 ボランティアの学生さんは、将来、学校の先生・社会福祉士・心理療法士・司書の免許を取り学校の図書の先生・保健室の養護の先生を目指して勉強しておられる方々なので、実際に専門の先生たちとめだかの子ども達との感覚統合療育で一緒に関わる事に経験により、実習に行かれる時や、将来熊本市内の専門分野で学校や療育先で活躍される時にこの経験を必ずや生かしていただくことと思います。 実際に、毎年関わって下さっていた学生さんが特別支援学校の先生になられ、たまたまですが、めだかの子どもさんの担任になられたり、療育先の相談員で

活躍されて居られます。

そして、ボランティアの学生さんたちが将来親御さんになられた時に、同じ学校のクラスにおられる困り感を持つ子どもさんと親御さんのナチュラルサポーターになって下さる事を期待します。

今回、くもと発達支援親の会「めだか」の感覚統合療育活動で、助成金をいただくことで感覚統合に必要な備品や器具を購入できたことで充実した療育を行うことができました。

また、ボランティアの学生さんの人数を増やす事ができ、実践を通した学生さんの勉強の場を提供していく事により、熊本市の教育・療育の、より一層の支援の充実につながる事と思います。

これからも、このような療育活動を自主事業として継続して実施できることがベストと考えます。

事業収支決算書

項 目		金 額	内 訳
収 入	自己資金	70,000 円	参加費@1,000 円×19=19,000 円 @2,000 円×10=20,000 円 @500 円×62=31,000 円
	熊本市市民公益活動支援助成金	140,000 円	当該事業に対する助成希望額
	その他	14,797 円	くまもと発達支援親の会「めだか」から助成金
	合 計	224,797 円	
支 出	助成対象経費	60,000 円	講師謝金@10,000 円×6 回 領収書№.9・12・33・36・49・74 (10/28・12/2・12/16・1/26・2/16・3/10)
	役務費	2,000 円	レクレーション保険 領収書№.20
	使用料・賃借料	13,300 円	会場費 2,800 円×2 [10/28・1/26] 1,400 円×3 [12/2・2/16・2/23] (※2/23 は 3/10 の打ち合わせの為に使用) 3,500 円×1 [12/16] 領収書№.7・32・39・51・53・6
	備品費・消耗品費	95,497 円	備品などの消耗品の合計
	旅費	24,000 円	学生ボランティアの交通費@1000 円×24 名 領収書№.66～73 [10/28・5名] [12/2・1名] [12/16・8名] [1/26・1名] [2/16・1名] [3/10・8名] 講師交通費@5,000 円×6 回 領収書№.8・13・35・38・50・75 (10/28・12/2・12/16・1/26・2/16・3/10)
	その他	0 円	
	小 計	224,797 円	
	合 計	224,797 円	